



GOLD  
AWARD  
WINNER

すべてのHDR対応プロジェクターに

# レイロドール

## 世界初のHDR適合スクリーン

高輝度でありながらホットスポットを抑えた理想的な幕面



人間の瞳の持つ「階調を識別する能力」にできるだけ近づける。

それがHDR(ハイ・ダイナミック・レンジ)技術。

「レイロドール」は、従来の拡散型ピュアマットIII Cinemaの

10倍のコントラスト比を実現。

しかもホットスポットを抑え、拡散型の特性に加えて、

反射型と回帰型の特性も備えた第4の幕面“広階調型”を実現。

各社のHDR対応プロジェクターに適合し、

最高の能力を引き出すHDRスクリーンです。



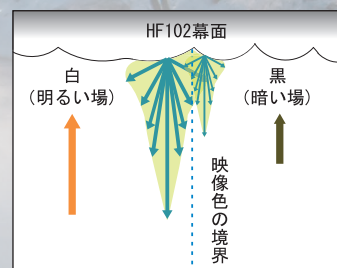
## HDR 映像に最適なスクリーン輝度（スクリーンニツツ）

HDR 映像は、たとえば UHD-Blue-Lay 規格では 10,000nit（ニツツ）まで記録されています。この映像を快適に見るためには、スクリーン表面にも高輝度を求められます。一般的な映画館のスクリーン輝度は 40nit（ニツツ）程度です。そのためプロジェクターの性能を補完するスクリーンゲインが急務でした。レイロドールは、ゲイン 2.7 という高輝度でありながら、ホットスポットを抑え、黒浮きも抑えた、拡散型に近い自然な映像を再現するスクリーンです。

## 隣り合う光が打ち消しあわない表面加工

プロジェクターが投写する明るい光と、暗い部分の光が隣り合った時にお互いに干渉しあわない事で、白が伸び黒が締まります。

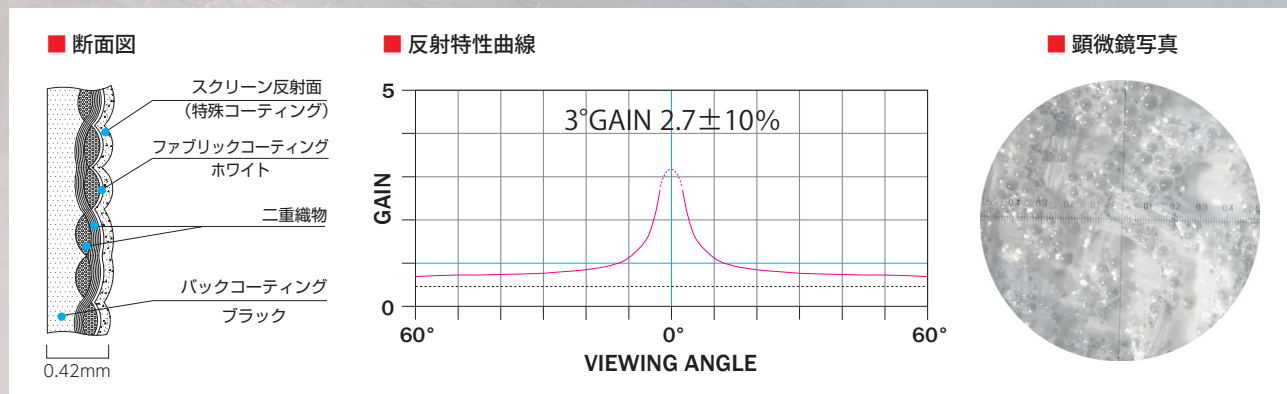
色の場合も同様で、隣り合った色が混じり合わないために、色の発色が良くなります。



## 広階調型特性（HDR スクリーン）

ゲインを高く得ることが出来る上、ゲインが 1.0 を下回った後も下降曲線が穏やかで、自然な映像が再現されます。

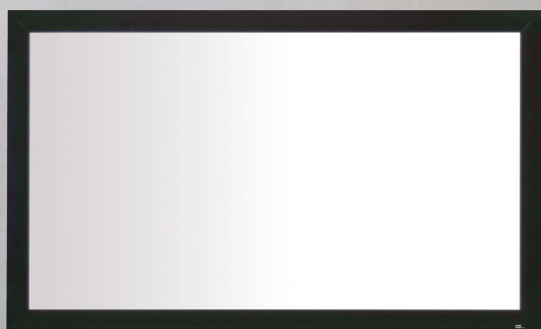
また有害光が入った場合にも、ビーズのように回帰させる特性があります。



## レイロドールにふさわしいスクリーン機構

4K/8K の映像はできるだけ平面性の高いスクリーンでご覧ください。

細部のリアリティが余すところなく、ご堪能いただけるよう、レイロドールに相応しいスクリーン機構をご用意しています。



**張込型スクリーン PX**

スクリーンの生地魅力を最大限に活かす  
張り込みスクリーン。



**サイドテンションスクリーン TP**

高画質時代を先取りした理想的な平面性を実現する  
サイドテンションスクリーン。